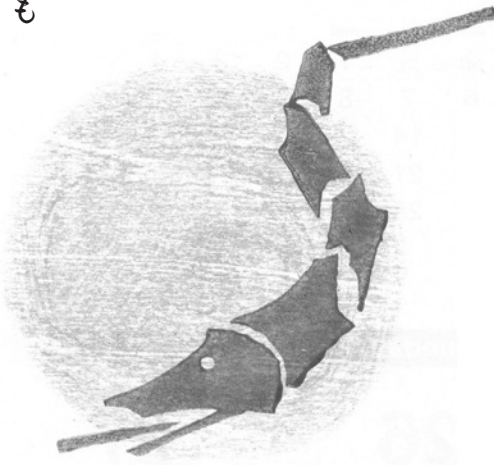


わがまち安井

あけまして

おめでとーございます



作：藤村 浄

本年も

よろしくお願ひ申し上げます

令和七年

安井地域コミュニティ協議会
安井地区各種団体

【22日】子ども樽みこし



安井っ子の「わっしょい！」の掛け声は、ひととき大きく境内に響き渡りました

【21日】宵宮祭



奉納演芸会では、安井バトングループの子どもたちがのびのびと演技を披露しました

西宮まつり

西宮神社 9月21〜23日

元・西宮市長
故 奥 五一 書
編集・発行
安井地域
コミュニティ
協議会
編集部
(奇数月1日発行)

【23日】渡御祭



発興祭の前に社務所前で記念撮影する安井地域の奉仕者たち。八乙女を務めたのは、(左から)鍋谷心花さん、辰馬圭威さん、白川葵さん

発興祭を済ませた渡御行列は境内を神幸した後、バスで香櫨園小学校前に移動。行列を組み直して香櫨園浜まで練り歩き、お旅所祭を行いました。

午後は、新西宮ヨットハーバーから船に乗り海上を渡御。御前浜前で「かざまつり」の神事を斎行し、海上安全を祈願しました。



西宮神社総代の鍋谷憲幸さん(左)と息子の太志さん(右)は毎回渡御祭に参列していますが、今回は孫の心花さんが加わり、三世代での奉仕となりました



みんなで頑張ってたくさん入ったよ



選手宣誓は中須佐町

第55回 安井地区 運動会

安井小学校校庭 10/13
主催 スポーツクラブ21 安井



圧巻の強さ！ 津田町V6！

安井小学校の校舎改築工事がほぼ終わり、広くなった校庭で地区運動会が行われました。午後から雨に降られた前回と違って、今回は文句なしの快晴。5年ぶりに、町ごとで弁当を囲む光景が見られました。町別対抗競技では、観覧席から選手たちに大きな声援が送られ、大いに盛り上がった1日でした。



やったー！ 安井町連覇！



グラウンドに咲いた、かわいいポーズ♪



障害物乗り越えて！



西宮市キャラクターのみやたんも参加



家族で協力！ お菓子を取ってゴール♪



↑ 1番目指して、全力ダッシュ!!

町別対抗競技結果

	優勝	2位	3位
綱引き	津田町	城ヶ堀町	神楽町
リレー(男子)	寿町	千歳町	平松町
リレー(女子)	安井町	千歳町	寿町



☆安井地区防災訓練☆

いざというときのために

安井小学校校庭 10/6

5年ぶりに防災訓練が実施され、4グループに分かれて五つのブースを回りました。
☆マンホールトイレ



災害時には、西校舎の道路側にある13個の小さなマンホールにトイレを設置し、排せつ物を流すことができます。少し大きいマンホールを開けると水道栓があり、それを持ち上げると水が流れます

☆消火器の使い方(き・ほ・ん)



(き)黄色のピンを抜く
(ほ)ホースを外す
(ん)ん〜と、消火剤を火の根元に向ける

子どもたちも「き・ほ・ん」を守って消火に挑戦。自分の身長を超える炎になったときには、無理をせず119番へ

☆非常持ち出し袋と備蓄品コーナー



長期保存する水や非常食、モバイルバッテリー、簡易トイレなどを展示。食品は賞味期限内に食べて補充しましょう

☆AEDの使い方



AED(自動体外式除細動器)は心停止の人を救命する医療機器で、駅や市民館などの公共施設に設置されています。地域内にも10カ所あります。ここでは、人形を使った胸骨圧迫と、AEDの操作方法を教わりました

☆受水タンク



小学校の南西角にある受水タンクには13.5tの水がためられていて、通常は校内で使用しています。災害が起きて断水になったときには、防災倉庫に保管されているホースと蛇口をつなぐことで給水できるようになります。水が足りなくなったら、給水車からタンクへ補充するそうです

阪神・淡路大震災から30年。震災を知らない小学生もたくさん参加して、積極的に体験していました。いつ起きるか分からない南海トラフ地震に備えていきたいですね。

参加 256人
主催 安井地区自治会連合会防災委員会
協力 安井小学校 西宮消防署
市・防災危機管理課 市・上下水道局

敬老のついで 10/16

事前に申し込んだ70歳以上の人が、安井・中両市民館でお祝いの菓子を受け取りました。今回は果物が当たる恒例の「お楽しみくじ」の他、健康相談コーナーもあり、握力測定などを受けている人もいました。



安井市民館にて



中市民館にて

来館者数
安井市民館 200人
中市民館 170人
主催 安井地区社会福祉協議会

グループまち欲ばり企画第2弾☆震災後のまちづくりを振り返って

地域共生館ふれぼの 11/11

平成7(1995)年の阪神・淡路大震災で、安井地域の閑静な町並みは一変しました。更地に高層マンションの建設が計画されるといふ無秩序な開発を食い止めるため、同年11月に「安井まちづくり協議会」が設立されました。今回の企画では、片岡幹雄さん(川添町)の司会進行で、協議会の会長を務めた前田榮一さん(城ヶ堀町)から当時の苦労話などを聞きました。



当時を熱く語る前田さん

住民で話し合いを重ね、アンケートを取り、市に要望書を提出。地域にふさわしい土地利用規制の法制化に約2年かかったとのこと。この法制化で、昔からの町並みが現在も維持されているそうです。
わがまち安井は永遠に!
参加 16人

大社公民館だより		大社公民館 ☎71-3649
日時・会場	講座名 & 講師 (敬称略)	備考
1月12日(日) I 10:00~12:00 II 14:00~16:00 大社公民館 講堂	「心のケア」と「安心の場」体験会 被災生活のなかで「安心」を手に入れる工夫 I・II 機織り(さをり織り)を生かした心のケア(ツナミクラフト) I 段ボールベッドづくり(市・防災危機管理課) II アレルギーを考慮した救援物資表示の工夫 (西宮アレルギー患者と親の会「みやれっこほーむ」)	※いずれも参加無料 ※申し込み方法など詳細は、開講1カ月ほど前に、西宮市ホームページ、ポスターなどでお知らせします
2月8日(土) 14:30開演 大社小学校 ランチルーム	平和への祈りを 朗読劇「火垂るの墓」 出演:陽なたの会(NPO法人シャクナゲ・子供の家) 【主催】大社地区青少年愛護協議会 【事前申し込み必要】	
3月13日(木) 13:30開演 (13:00開場) 大社公民館 講堂	～落語を楽しむ～ 大社寄席 出演:落語家(七代目)笑福亭松喬 他 【事前申し込み必要】	

今年も咲きます、富山のチューリップ 安井小学校 11/3

NPO法人ヤングネットワークとやま(YNT)が、4年ぶりに安井小学校を訪れました。YNTは平成7(1995)年の阪神・淡路大震災発生直後の安井小学校でボランティアとして活動し、それ以来毎年チューリップの球根を届けるなど、安井地域と交流を続けてきました。また、球根のお礼として、安井地域から平成24年に贈呈した西宮市オリジナルの桜「夙川舞桜」と「西宮権現平桜」は、富山国際大学のキャンパスに植樹され、毎春、花を咲かせています。今回は、同大学のサッカー部員も同行し、スポーツクラブ21(SC21)安井のジュニアサッカー部員と一緒にプレーを楽しみました。

昨年元日に起きた能登半島地震に加えて、9月の豪雨に見舞われた能登地方。現地で支援活動をするYNTを支えようと、SC21安井では再度募金を呼びかけ、集まったお金を手渡しました。

この日にももらった球根約1000個は、学校の花壇に植える他、1個ずつ児童が持ち帰って家で育てます。何色の花が咲くか楽しみです。

YNT代表の五十嵐ひかるさん(左)から、球根を受け取る安井小児童



表彰おめでとうございます

- 西宮市民体育賞「くすのき」
(体育功労賞) 10/10
清水将次さん(中前田町)
- 西宮市青少年健全育成
功労者 12/21
武本裕子さん

～安井地区

青少年愛護協議会から～

第32回ふれあいコンサートは、昨年11月2日に開催予定でしたが、大雨警報発令のため、中止になりました。



阪神・淡路大震災から30年 当時を忘れない!



スポーツクラブ21安井のクラブハウス(安井小学校体育館横)に保管されている「ファミリー安井」のパネル写真。震災直後は約1600人が避難してきた安井小学校では、その後2月からは「ファミリー安井」として、家をなくした人たちが、助け合って過ごしていたようです。パネルには、約半年後の解散までの様子が残されています。「ファミリー安井」は元気になっているでしょうか。

現在は校舎も新しく建て替えられ、災害時のための設備も整えられていますが、当時のことを忘れることなく、災害に備える心の準備をしていきたいものです。